

私 変 わ る 、 世 界 が 変 わ る
Freedom School
NPO 法人
さっぽろ自由学校

遊

市民が
つくる、
市民の
ための
学びの
場



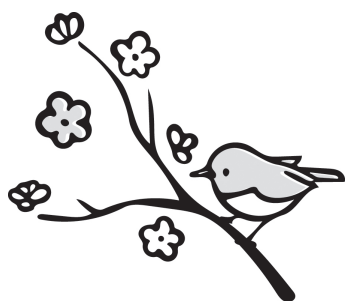
2021年

前期 講座案内

2021年4月～9月

もくじ

【語 学】 出会う英語 ☆英語で語ろう☆	3
【語 学】 ハングル 最初の一步から	
【暮らし】 人も動物も満たされて生きる —アニマルウェルフェアをめぐる part 4	4
【文 化】 CEMIPoS ×アマレヤ劇団「女性の声：アートとアクティビズム」から	5
【訪 問】 アニマルウェルフェア・フィールドワーク（見学会）	
【社 会】 SDGs で世界は変わるのか —持続可能な社会への変革のアプローチとは	6
【社 会】 学校教員による性暴力、その実態を知る	7
【社 会】 北海道の "核のゴミ" 処分問題を考える	8
【暮らし】 このままでいいの？ 再生可能エネルギーの進め方 part 8	9
【歴 史】 日本の植民地責任と歴史認識	10
【歴 史】 アイヌ民族復権に向けた歴史	11
【研究会】 カムイチェブ・プロジェクト研究会	
【暮らし】 老いと向き合う part 5	12
【社 会】 循環社会と分散テクノロジー —既成概念から自由になる	13
SDGs 北海道メジャーグループ・プロジェクト 2020	
【歴 史】 サハリン島における先住民、日本人、ロシア人の歴史	14
【社 会】 日本学術会議問題を考える —任命拒否の意味するところ	15
選んだ人とざっくばらんに！ 民主主義って何だ？ 政治家と語ろう	
【文 化】 越境する人と文化を通して読み解く東アジア	16
【文 化】 アメリカ社会・文化と音楽	17
【文 化】 アイヌアートデザイン教室	18
【文 化】 黄金色の手しごと —道産小麦のストロー使用	
【文 化】 基礎から学ぶ伝統楊式太極拳 —急がず、悩まず、無理をせず	19
【読書会】 花さんと読む、詩の世界 —茨木のり子と石垣りん	20
【読書会】 マルクス・エンゲルス著『共産党宣言』を読む	
【訪 問】 北海道ノーモア・ヒバクシャ会館ツアー	21
【上 映】 大道芸人ギリヤーク尼ヶ崎 九十歳記念記録映画『魂の踊り』上映会	
【交 流】 読書室よりみちまわりみち	22
PARC 自由学校 2021 オンライン講座のご案内	
【上 映】 PARC の映像で学ぶ 私たちの暮らしと社会	23



表紙デザイン いのうえしんぢ

<受講料（参加費）について>

- ・連続講座の受講料は、記述のないものは通しの料金です。「単発」とあるものは1回毎の参加料金となります。
- ・受講料の種別について
 - 会 員：さっぽろ自由学校「遊」の正・準会員の方。
なお、特別会員の方は**単発参加設定のある連続講座に無料で参加**できます。
 - 一 般：上記以外のすべての方が対象です。
(25歳以下の若者は、特別料金で参加できます)

新型コロナウイルス感染症への対応について

さっぽろ自由学校「遊」では現在、新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から以下の対策を行っています。

教室で実施するすべての講座につき、定員を設けます（特に記載のない講座については定員15名とさせていただきます）。講座受講をご希望の方は、必ず事前申込をお願いいたします。なお定員になり次第、受付を終了させていただきます。オンライン受講につきましてはこの限りではありません。

<申込先>

教室受講のお申込 syu@sapporoyu.org

オンライン受講のお申込 moshikomi@sapporoyu.org

※いずれも、希望の講座名（単発の場合、日程も）、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレスをお知らせください。

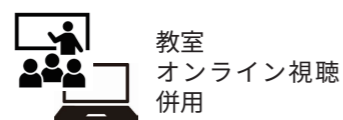
対面での参加については、以下の対応についてご了解ください。

- ・マスクの着用を参加の条件とさせていただきます（マスク着用のない場合、入場をお断りします。健康上の理由でマスクが着けられない方は、あらかじめご相談ください）。また、入場のときに手の消毒をお願いしています。
- ・座席の間隔を空けるとともに、定期的に換気します。

講座形態は、①教室実施のみ、②教室とオンラインの併用、③オンラインのみ、の3種類となっています。以下のロゴマークを参照ください。



教室実施



教室
オンライン視聴
併用



オンライン実施

なお、新型コロナウイルスの感染状況の変化によって、上記の対応等については変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。

オーガニック・自然食品専門店
らる畑
おべんとうとおそうざい
らるごはん
札幌市中央区大通西23丁目
Tel 614-2406 Fax 614-3836
http://rarubatake.com
10時~19時(日~17時・祝~18時)

Simple Life, High Thinking
小4から高3まで
スコールユウ
〒007-0866 札幌市東区伏古6条4丁目4-21
TEL. 785-0228

いつだって No Nuke!
北海道のエネルギーの未来を考える
10,000人の会

出会う英語

☆英語で語ろう☆



英語は、世界中の異なる文化や歴史を持つ人々と交流するためのツールの一つです。しかし、普段使わないと、いざと言うときになかなか出てこないものです。この講座では、身近な話題やニュースを切り口に、自分の意見を英語で表す力を身に付けます。日常使う会話や基本的な文法も交えながら学んでいきます。「英語は苦手」と言う人も、拙くても間違っても大丈夫。話してみるのが第一歩！！英語で世界と会いましょう。

日程 5月10日(月)開講

前期18回(～9/27)

毎週月曜19:00～20:30

会場 さっぽろ自由学校「遊」

(愛生館ビル5F 501A)

*コロナウイルス感染対策として、会場では少数で行います。オンライン受講を希望する方はお気軽にお問い合わせ下さい。

定員 10名(最少催行5名)

受講料 一般30,000円 会員28,500円

25歳以下24,000円

*体験(1回のみ)1,000円

講師 アンドレス・パトリシアン

フィリピン出身

皆様へ～メッセージ～

Hi! I'm Patrician and I'm from the Philippines. I have been teaching English as a second language here in Japan for the past 10 years and have been involved in a lot of multicultural activities both here in Japan and abroad.

Let's enjoy speaking English as we talk about current issues happening around the world.

Levels do not matter! We can all learn from each other! Let's improve our English skills and get ready to become a part of the global society. See you!



ハングル 最初の一歩から



耳に入ってくるハングル、ここ暫く、街中ではすっかり減ってしまったのは残念。でも独特な文字を目にすることや、食べたり観たりでハングルに触れる機会はとて多くなっている。語順がほとんど同じで漢字を借用してきたことなど、日本語ととても近い。一方、母音の多いことや子音で終わる語彙が少なくないことなどが近寄りたくしている？ そのハングルを「遊」の教室で学びます。ご一緒しませんか。

日程 5月13日(木)開講

前期18回(～9/30)

毎週木曜19:00～20:20

会場 さっぽろ自由学校「遊」

(愛生館ビル5F 501A または6F 愛生館サロン)

定員 10名(最少催行5名)

受講料 一般30,000円 会員28,500円

25歳以下24,000円

*体験(1回のみ)1,000円

テキスト 『できる韓国語初級I』 2,200円

『同 ワークブック』 1,200円

(いずれも DEKIRU 出版 市内書店にて購入可)

講師 コ・ソングョン

北海道大学大学院 文学院



～講師からのメッセージ～

みなさん、韓国語を聞いたことはあるでしょうね。知っている韓国語はありましたか。お隣の韓国の人々はどのような考え方をしているのか、またどう暮らしているのか。私と一緒に韓国語を学びながら韓国と韓国人の色々な面を覗いてみませんか。楽しく学んでいきましょう！

人も動物も満たされて生きる

—アニマルウェルフェア（家畜福祉）をめぐる part 4



アニマルウェルフェア（家畜福祉）の語源は、「(人も動物も) 満たされて、生きている」状態。家畜福祉については、消費者の認知度はまだ低く、ストレスから自由な飼育環境にない農場も少なくありません。これまでの講座に引き続き、肉牛生産者や飲食業の取り組みをはじめ、採卵鶏のアニマルウェルフェア国際基準をめぐる問題点などについて学び、普及に向けた課題や人と動物とのより良い関係を創る道筋を探っていきます。

日程 4月22日(木) 開講 全6回 月1回木曜 19:00～21:00

会場 オンライン開催 (zoom 使用)

参加費 5,000円 25歳以下2,500円 (単発 1,000円/回 25歳以下500円/回)



4月22日(木) 第1回

飲食店から見たアニマルウェルフェア

●石田 香織 (いしだ かがり)

「嬉楽株式会社」代表・オーガニックプランナー (札幌市)
オーガニックレストラン経営のほか、ビーガン向けレシピの開発などを手掛けるなかで考えた、消費者とアニマルウェルフェアとの関係についてお話しします。

5月27日(木) 第2回

採卵鶏のアニマルウェルフェア

●森 映子 (もり えいこ)

時事通信社文化特信部記者
吉川元農水相が鶏卵業者から賄賂を受け取っていたとして今年1月に在宅起訴されました。汚職事件で広く知られるようになった採卵鶏のアニマルウェルフェアの国際基準作りの経緯、安い卵の理由などについて説明します。

6月24日(木) 第3回

牛はただの食材か？

—肉牛とアニマルウェルフェア

●比屋根 恵 (ひやね めぐみ)

「石垣島比屋根ファーム」代表 (沖縄県)
肉牛の生産現場の状況とそこから見える課題や農家の喜怒哀楽などを紹介します。当ファームが実践してきたアニマルウェルフェアの取り組みを含め、感受性の高い牛の魅力を一人数でも多くの方に知ってもらいたいと思っています。



7月29日(木) 第4回

国会議員と考える アニマルウェルフェア普及への道

●堀越 啓仁 (ほりこし けいにん)

衆議院議員 (群馬2区・立憲民主)
日本ではアニマルウェルフェアの認知度が低く、課題が山積しています。国会などで政府の取り組みを促してきた衆議院議員をゲストに迎え、普及に向けた方策と一緒に考えます。

8月26日(木) 第5回

行政の取り組みを聞く

●叶 拓斗 (かのう たくと)

北海道農政部畜産振興課主幹 (農林水産省から出向中)
アニマルウェルフェアを普及していくときに、行政の取り組みは欠かせません。北海道や農水省の施策などについて紹介します。

9月30日(木) 第6回

実験動物のアニマルウェルフェアを考える

●森 映子 (もり えいこ)

時事通信社文化特信部記者
薬や治療法の研究開発、生活・工業用品、農薬などに含まれる化学物質の安全性試験、学校の実習などあらゆる分野に使われている実験動物。その飼育環境、実験内容、法制度などの現状についてお話しします。

CEMiPoS × アマレヤ劇団

「女性の声：アートとアクティビズム」から



昨年12月18日、ポーランドのアマレヤ劇団とCEMiPoSがウェビナー「女性の声：アートとアクティビズム」を共催した (<https://cemipos.org/amareya-webinar/>)。そこでは女性アーティストたちがアートを媒介として植民地主義、人種差別主義、性差別主義と闘っている現状と展望について議論した。本講座ではマイノリティの権利擁護をグローバル・アジェンダとしてとらえ、アートとアクティビズムについて国際的な観点から探求したい。

*CEMiPoSは日本語では「環境とマイノリティ政策研究センター」と訳され、社会的、民族的マイノリティを支援し、エンパワーするための独立した国際研究センターである。具体的な活動としては、国際学術会議やアートワークショップの開催、国際的なジャーナルやメディアへの寄稿、ドキュメンタリーの英語字幕の作成などを行っている。

日程 5月7日(金) 開講 全5回 月1回金曜 19:00～21:00

会場 オンライン開催 (zoom 使用)

参加費 4,000円 25歳以下2,000円 (単発 1,000円/回 25歳以下500円/回)



5月7日(金) 第1回

ポーランドの女性アーティストの Black Venus Protect

●丸山 博 (まるやま ひろし) CEMiPoS 所長

8月6日(金) 第4回

カナダのアーティストの RedDress Project

●丸山 博 (まるやま ひろし) CEMiPoS 所長

6月4日(金) 第2回

海外のウィグル芸術家の抵抗

●マインダート・ボエルスマ CEMiPoS 研究員

9月3日(金) 第5回

対談

●レーニ・シャルバヌー CEMiPoS 研究員

●カタルジーナ・パスツサック

アマレヤ劇団芸術監督、CEMiPoS 客員教授

7月2日(金) 第3回

BLM運動とアフリカ系アメリカ人 アーティスト

●丸山 博+マシャット・ザーマン CEMiPoS 研究員

アニマルウェルフェア フィールドワーク (見学会) のご案内

毎月の講座の関連企画として、アニマルウェルフェア畜産を学ぶフィールドワークを実施します。以下の3農場を見学し、生産現場の人たちのお話を伺います。

【第1回】5月22日(土) 妹背牛牧場 (空知管内妹背牛町の酪農場)

【第2回】7月17日(土) 十勝しんむら牧場 (上士幌町の酪農&放牧養豚場)

【第3回】9月11日(土) The 北海道ファーム (栗山町の稲作&平飼い・放牧養鶏場)

※いずれも午後1時から3時頃まで。参加費500円。

お問合せ・申込は welina0311@gmail.com (瀬川) または 011-252-6752 (「遊」事務局) へ。

SDGsで世界は変わるのか？

—持続可能な社会への変革のアプローチとは



国連がSDGs（持続可能な開発目標）を掲げて5年が経過しました。国内でもSDGsへの注目が広がる一方、SDGsに対する批判的な意見もみられるようになってきています。そもそも、SDGsを掲げながらも、政府や大企業はそれとは逆行する行動をとっているようにもみえます。SDGsは社会を変える起爆剤となりうるのか？ それとも、真の問題をぼやけさせるまやかしに過ぎないのか？ 持続不可能な実態を生み出している社会の基本構造を見つめるところから、持続可能で公正な社会への変革のためにはどのようなアプローチが必要なのか、一緒に考えてみませんか？。

日程 4月30日（金）開講 全6回 月1回金曜 19:00～21:00

会場 オンライン開催（zoom使用）

参加費 5,000円 25歳以下2,500円
（単発 1,000円/回 25歳以下500円/回）

協力 SDGs市民社会ネットワーク



4月30日（金）第1回

SDGsと国際開発—その始まりとその後

●大橋 正明（おおはし まさあき）

SDGs市民社会ネットワーク共同代表理事、聖心女子大学教授

持続可能な開発目標（SDGs）の土台は、「開発」です。この世界共通の開発という考え方はいつどこでなぜ生まれたのか、どう変遷してきたのか、そしてSDGsはとなり、その後をどうなるのかを、一緒に考えます。

5月28日（金）第2回

SDGsと脱成長

●中野 佳裕（なかの よしひろ）

早稲田大学地域・地域間研究機構次席研究員

この講座では、「持続可能な開発目標（SDGs）」が抱える様々な矛盾や限界を歴史的に整理し、その隘路から抜け出すために、近年注目されている「脱成長」パラダイムを巡る先端的議論を紹介しします。

6月25日（金）第3回

SDGsと先住民族の権利

●鈴木 真代（すずき まよ）

サステナビリティ・コンサルタント/
Social Connection for Human Rights 共同代表

SDGsを起案した国である南米コロンビアより、起案者の思いや途上国側にとってのSDGsの意義を解説し、世界的にも人権リスクの高いラテンアメリカの先住民に関して、コロナ禍の状況、人権尊重及び人権侵害の事例を紹介。

7月30日（金）第4回

SDGsと環境・女性

●萩原 なつ子（はぎわら なつこ）

立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科・教授、
認定特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事

本講座では、ジェンダーの視点から環境問題をとらえ、社会的公正と環境的公正の同時達成を目指すエコフェミニズムの考え方、SDGsにおける目標5「ジェンダー平等」の位置づけと役割について考える。

8月27日（金）第5回

SDGsと民主主義〈対談〉

●今田 克司（いまた かつじ）

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）
代表理事、SDGs市民社会ネットワーク業務執行理事

●宇野 重規（うの しげき）東京大学社会科学研究所教授

SDGsのスローガン「誰一人取り残さない」を実現するためには、一人一人が当事者意識をもち、個人の気づきを掘り下げ、自ら行動を起こし、政治の仕組みに乗せ、社会の変革を担うことが求められる。これらの取り組みと民主主義社会の伸長はどうつながっていくのか、対談形式で解きほぐしていく。

9月24日（金）第6回

SDGsと障害

—障害者が取り残されないように

●中西 由起子（なかにし ゆきこ）

DPI（障害者インターナショナル）日本会議副議長

ジェンダーの場合と同様に、障害者に対する有形無形の差別はまだまだ存在する。障害者が取り残され続けないように、SDGs推進における障害のインクルージョンの意義を考える。

学校教員による性暴力、 その実態を知る



学校教員による児童生徒への性暴力は、暴力や暴言の問題と同様に数十年前からあるにも関わらず、長い間直視されてきませんでした。近年、教員免許法の問題をはじめ、ようやくこの問題がクローズアップされてきました。実際に被害にあいながらも札幌市教委への申し立てや裁判を経て、加害者を懲戒免職にした石田さん個人の経験、法務省と文部科学省に提出した被害アンケート結果による普遍的なデータを元に、学校教員による性暴力の実態を知り、どう防ぐかを考えることを目的とします。

日程 5月14日（金）開講 全4回 月1回金曜 19:00～21:00

会場 オンライン開催（zoom使用）

参加費 3,000円 25歳以下1,500円
（単発 1,000円/回 25歳以下500円/回）

講師 石田 郁子（いしだいくこ）

北海道大学文学部、金沢美術工芸大学卒。2019年、中学教師の性被害によるPTSD損害賠償請求訴訟を提起。法務省・性犯罪に関する刑法改正検討会ヒアリングに参加。同会に教員による性被害アンケート結果を提出、文部科学省に政策提言とアンケート結果を提出。2020年12月に高裁判決で請求棄却、性的行為が事実認定され、2021年1月、札幌市教育委員会は28年前の性的被害を認定、加害者を懲戒免職にする。



5月14日（金）第1回

学校教員の性暴力の実態

- ・学校での被害が8割以上
- ・教員による児童生徒への性暴力の特徴（同時に大勢の生徒が被害に遭うことがある、密室とは限らない、など）
- ・学校別の特徴

6月11日（金）第2回

加害者と被害者の心理

- ・信頼関係を利用した性暴力
- ・罪の意識が薄い加害者、罪悪感に苦しむ被害者
- ・被害認識に時間がかかる理由
- ・加害者と被害者のその後

7月9日（金）第3回

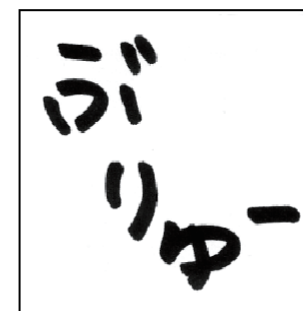
法律・教育行政の問題（主に公立学校）

- ・体罰、いじめより対策が遅れている理由、法整備の必要性
- ・全国一律ではない懲戒処分の実態
- ・教員免許の問題

9月10日（金）第4回

防止のために何をすべきか

- ・文科省に提出した10個の政策提言
- ・一部の自治体の取り組みなど



内科・神経外科
**札幌中央
ファミリークリニック**

外来一般診療
月火・木金 9:00～11:30
外来は予約してください

札幌市中央区南1条西11丁目
ワズ南一条ビル6F
TEL.272-3455

雑貨（もの）・ひと・食のひろば
みんたる
MINTARU

フェアトレード雑貨&レストラン

札幌市北区北14条西3
Tel&Fax.011-756-3600
http://www.mintaru.com

営業時間/11:45-18:00（夜は予約制）
定休日/日・月・祝日

北海道の“核のゴミ”処分問題を考える



後志管内の寿都町と神恵内村で“核のゴミ”最終処分場の選定に向けた「文献調査」が始まり、道民の関心が高まっています。道北の幌延町では、当初計画の研究期間がなし崩し的に延長され、深度 500 m の調査坑道を掘削する計画が取り沙汰されています。こうした“核のゴミ”処分問題の「過去・現在・未来」を、地元住民や研究者らの話を通して深掘りしていくのがこの講座の目的です。事業主体の N U M O の担当者との意見交換も企画しています。

日程 4月21日(水)開講 全6回 月1回水曜 18:45~20:45
会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A) *オンライン受講も可
参加費 一般 6,000円 会員 4,800円、25歳以下 2,400円
(単発 一般 1,500円 会員 1,000円 25歳以下 500円)
*オンライン受講 1,000円/回 25歳以下 500円/回



4月21日(水) 第1回

「文献調査」をめぐる住民運動の今

●榎谷 和幸 (つちや かずゆき)

「脱・肌感覚リコールの会」共同代表 (寿都町)

郷里の寿都町にUターンして宿泊業を営むなか、昨年8月に突然、「文献調査」の応募に向けた動きが報道され、片岡春雄町長のやり方に疑問を抱き、住民運動グループに参加しました。これまでの取り組みなどを紹介します。

5月19日(水) 第2回

寿都・神恵内はなぜ調査受け入れに走ったのか?

●佐藤 英行 (さとう ひでゆき)

岩内町議・「後志・原発とエネルギーを考える会」事務局長

最終処分地の選定に向けた「文献調査」に手を挙げた寿都町と神恵内村の行財政事情や、応募の背景にある洋上風力発電構想、後志管内での“核のゴミ拒否条例”制定の動きなどについて解説します。

6月16日(水) 第3回

研究者から見た寿都・神恵内・幌延の地質

●岡村 聡 (おかむら さとし)

北海道教育大学名誉教授 (地質学)

核のゴミの最終処分候補に名乗りを上げた寿都町と神恵内村。地質の専門家にとって想定外の出来事でした。果たして日本列島に地層処分の適地があるのかどうか、道南の地質について、道北の幌延とも比較しながら、考えてみたいと思います。

7月21日(水) 第4回

「幌延問題」をめぐる40年の歴史をたどる

●滝川 康治 (たきかわ こうじ)

ルポライター (下川町在住)

道北の幌延町が原子力関連施設の誘致に乗りだして40年が経過しました。「貯蔵工学センター計画」は撤回され、生き残ったのが“核のゴミ”最終処分に向けた研究施設。これまでの経緯をたどり、「日本で地層処分は出来るのか？」を考えます。

8月18日(水) 第5回

周辺住民から見た“核のゴミ”処分研究

●東 道 (あずま おさむ)

「核廃棄物施設誘致に反対する道北連絡協議会」事務局 (稚内市在住)

幌延町への放射性廃棄物施設の立地に反対する運動の歩みや、周辺の町で暮らす住民の目から見た“核のゴミ”処分研究に対する疑問点などについて紹介します。

9月22日(水) 第6回

「文献調査」の事業主体に聞いてみよう

●NUMO (原子力発電環境整備機構) の担当者 (交渉中)

処分事業を進めるNUMOの担当者を招き、「文献調査」から地層処分に至る流れを説明してもらい、「道や地元・周辺自治体、道民の声をどう受け止めるのか?」「果たして日本で地層処分は可能なのか」などをめぐり、参加者と意見交換をする予定です。

このままでいいの?

再生可能エネルギーの進め方 part 8



再生可能エネルギー、水素発電、電気の地産地消、脱炭素社会等、これらに関する施策が地球温暖化を解決すると謳われている。国は農林水産業等に関わる大幅な規制緩和を実施して風力発電事業を強力に推進、同時にクリーンエネルギーとして原発の再稼働も再エネとセットで進めている。再エネ発電や電気自動車等に必要な希少金属はアフリカ、東南アジア、南米等で限定的に産出、採掘され、環境悪化が大規模に拡大。果たして人類は有限な地球と共存できるのだろうか。

日程 4月27日(火)開講 全6回 月1回火曜 18:45~20:45
会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A) *オンライン受講も可
参加費 一般 6,000円 会員 4,800円 25歳以下 2,400円
(単発 一般 1,500円 会員 1,000円 25歳以下 500円)
*オンライン受講 1,000円/回 25歳以下 500円/回



4月27日(火) 第1回

脱炭素ビジネスの先進地「石狩市」の目指すところは?

●神代 知花子 (くましほ ちかこ)

石狩市議会議員

地球規模の気候変動に各自治体の脱炭素の取り組みが求められる中、その先進地として、電力の大消費地「札幌市」と隣接する「石狩市」が注目されています。再エネ新事業と、その先の姿を考察します。

5月25日(火) 第2回

下川町の木質バイオマス事業を考える

●滝川 康治 (たきかわ こうじ)

ルポライター (下川町在住)

国のモデル自治体の指定も受け、木質バイオマス関連事業に取り組んできた道北の下川町。公共施設に対する熱供給やバイオ発電などをめぐる経緯と現状について、地元住民の目線で紹介し、皆さんの感想をお聞きます。

6月22日(火) 第3回

再エネと原子力を支える原資はどこから来るか?

●小坂 直人 (こさか なおと)

北海学園大学名誉教授

日々の生活に欠かせない電気の供給を受けるのですから、その料金を払うのは当然です。でも、そのお金は、本当に有意義に使われているのでしょうか?再エネと原子力を中心に考えてみましょう。

7月27日(火) 第4回

再エネ事業と日本人の特質—有限資源の観点から

●西原 智昭 (にしはら ともあき)

星槎大学共生科学部特任教授、国際野生生物保全 NGO (Wildlife Conservation Society) 自然環境保全研究員

エネルギー調達に必須な世界の資源開発の現状を俯瞰する。資源のない日本はその調達に鉱物リサイクルや技術開発等を期待するが、「周りを見ず事を進める」日本人の特性をも視野に入れ再エネの是非を問う。

8月24日(火) 第5回

日本中に増え続ける風力発電事業に未来はあるのだろうか

●安田 秀子 (やすだ ひでこ)

石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会

●佐々木 邦夫 (ささき くにお) 風力発電の真実を知る会

風力発電事業について、国は事業者の声を聞き、環境アセスの規模要件を緩和し、期間短縮をして、更に導入促進をする構えです。洋上も含め、風車が日本中に建設されようとしている実態を探ります。

9月28日(火) 第6回

牧場を継承する若い酪農家に起こった風力発電計画

●小川 拓也 (おがわ たくや) 豊富町在住酪農家

夜空に満点の星が輝く集落から1kmしか離れていない丘に、巨大風力発電が8基建設されようとしている。都会の電気のために地方の自然や暮らしを犠牲にしないで欲しいと夢を抱いて移住してきた酪農家が訴えています。

日本の植民地責任と歴史認識



日韓関係にみられるように、世界的に歴史認識問題が政治上の大きな争点になっています。一方、BLM運動の広がりなどの背景には、植民地支配への責任を不問にしてきたことに対する問いかけがあります。植民地支配への責任を私たちはどのように果たすべきなのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

日程 5月24日(月) 開講 全5回 月1回月曜 18:45～20:45

会場 愛生館サロン(愛生館ビル6F・南側奥)

参加費 一般5,000円 会員4,000円 25歳以下2,000円

(単発 一般1,500円 会員1,000円 25歳以下500円)

※オンライン受講 1,000円/回 25歳以下500円/回



5月24日(月) 第1回

北海道を脱植民地化する

●小田 博志(おだ ひろし)

北海道大学大学院文学研究院・教員、専攻・人類学

「アイヌ文化」が注目される一方で、札幌にあったアイヌ・コタンの歴史はなぜ知られないままなのでしょう？ BLM運動から北海道の歴史をふり返ると何が見えてくるのでしょうか？ 足もとから歴史を問い直してみましよう。

6月28日(月) 第2回

「徴用工」問題をどうとらえるか 一問われた植民地支配の清算

●林 炳澤(いむ びよんてく)

さっぽろ自由学校「遊」共同代表

日本の帝国主義政策(植民地支配)は、現在も清算されたわけではない。それが顕示され、焦点化されているのが日・韓関係である。それはなぜなのか、どうあるべきなのか、「徴用工」問題を切り口に考えてみたい。

7月26日(月) 第3回

戦争裁判—裁かれなかった植民地支配

●内海 愛子(うちみ あいこ)

恵泉女学園大学 名誉教授

日本の朝鮮植民地支配は、戦後、どの時点でどのように清算されたのか。現在も続く戦後補償運動での被害者の訴えを考えるため、戦後史の中で植民地支配の清算を考える。

8月30日(月) 第4回

日本による植民地支配とその責任 —アイヌモシリから琉球へ

●上村 英明(うえむら ひであき)

市民外交センター共同代表

近代国家の成立とともに始まった拡張政策と植民地支配。薩摩藩の支配、米国の関わりなどを含め、その構造を、アイヌモシリと琉球の歴史から考えたいと思います。

9月27日(月) 第5回

植民地主義から考える憲法の課題

●清末 愛砂(きよすえ あいさ)

室蘭工業大学大学院工学研究科准教授

日本国憲法は、大日本帝国の帝国主義や軍事主義の反省として制定された側面を有する。しかし、それは植民地主義を克服するためのツールとなり得てきたであろうか。本講座では、北海道や沖縄の状況に鑑みながら、植民地主義の視点から憲法を見つめなおし、その課題を参加者とともに議論する。



アイヌ民族復権に向けた歴史



アイヌ民族復権に向けた歴史について、主に『戦後アイヌ民族活動史』(竹内渉著 解放出版社 2020年6月)の内容に沿って進めていきます。同書は、主に1945年以降のアイヌ民族の復権にむけた「解放運動」をはじめとする諸活動史について、整理しています。まとまった資料が少ない近現代の「アイヌ民族活動史」への理解を深め講座を目指します。本の内容の解説に加え、多くの映像資料(動画と写真)と音声資料を使って行います。

日程 7月3日(土) 開講 全3回 月1回土曜 14:00～16:00

会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)

参加費 一般3,000円 会員2,400円 25歳以下1,200円

(単発 一般1,500円 会員1,000円 25歳以下500円)

*オンライン受講 1000円/回 25歳以下500円/回

講師 竹内 渉(たけうちわたる)

1954年、埼玉県生まれ。1979年北海道大学経済学部卒業。1983年に札幌アイヌ文化協会に参画。1993年から北海道アイヌ(ウタリ)協会に事務局員として勤務、事務局次長、事務局長兼常務理事を歴任し、2015年定年退職。主な著書は『結城庄司研究報告書』『野村義一と北海道ウタリ協会』『結城庄太郎研究報告書』『北海道アイヌ(ウタリ)協会史研究1・2報告書』『北の風 南の風～部落、アイヌ、沖縄。そして反差別～』など。



7月3日(土) 第1回

戦前～1950年代

序章として、戦前のアイヌ民族の活動について、特にアイヌ協会1930年設立説の検証と戦後のアイヌ協会の設立と設立期の活動についてについて考えてみます。

8月7日(土) 第2回

アイヌ協会の再建・再開

1950年ころから活動を停止したアイヌ協会の再建・再開と協会の名称変更問題、ウタリ福祉対策などについて考えていきます。

9月4日(土) 第3回

福祉活動から民族活動へ

「アイヌ新法案」制定活動、文化復権運動など先住民族としての権利確立にむけた活動、アイヌ民族の現状等について考えます。



カムイチェブ・プロジェクト研究会

カムイチェブ=サケは、先住権運動のシンボルであると同時に重要な食資源・経済資源であり、また海と川(陸)を繰り返し行き来するその習性によって自然生態系の物質循環に大きく貢献しています。私たち人類に100点満点の生態系サービスをもたらしてくれるサケと、この先もうまくつき合い続けるにはどうしたら——。昨年度に続きウェビナー方式で専門家・当事者と市民を結びながら、「北海道の新しいサケ管理」を探ります。

◆日程 4月28日、6月30日、8月25日 いずれも水曜夜 18:30～21:00

◆会場 zoomを使用したオンライン開催

◆参加 研究会というスタイルのため、参加者には積極的な貢献が期待されます。(参加費は無料)

老いと向き合う part 5



日々老いていく自分を受け止め、どう前向きに生きていったらいいのか。仲間や関係団体、施設の方々に話題提供していただいた後、参加者で自由に語り合います。出会いと、お互いの経験に学びあう機会になっています。ぜひ一度のぞいてみてください。

日程 5月7日(金)開講 全5回 月1回金曜 14:00～16:00

会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)

参加費 通し 2,500円 (単発 600円)

5月7日(金) 第1回

終活、葬送をめぐって(1) 葬儀を考える

●横田 恒一 (よこた こういち)

「遊」会員。講座のテープ起こしやFB広報担当。

葬儀屋任せにしない葬送のあり方を考えていたはずなのに、いざ実際にその時になると、分からないことや迷うことの連続…。親の老いと葬儀をめぐる経験を具体的にお聞きして、考えたいと思います。

6月4日(金) 第2回

私の老いじたく

●西條 民治 (さいじょう たみじ)

「遊」準会員 70代 自営業 美術制作

●今 嗣王 (こんつぐお)

東区在住 70代男性

少しずつ老いてきている我が身。病気になった時の備えは？どこで最後を迎えるのか？費用はどうするの？日々の暮らしを大事にしながら、これからの問題にどう備えて行ったらいいのかを語り合います。

7月2日(金) 第3回

地域の居場所

—あさ夕喫茶『ぶらっと』に集う人たち

●羽田 雅俊 (はねだ まさと)

喫茶ぶらっと店主

石狩市花川北団地の一角に開店した『喫茶ぶらっと』は地域の高齢者の居場所になっています。マスターや常連さんたちに『ぶらっと』の魅力について語ってもらい、その後意見交流をします。

※この回の会場は『ぶらっと』(石狩市花川北2条4丁目 TEL: 090-7050-0618)です。単発の参加希望者は必ず事前予約をお願いします。(6/15 締切、定員 11名)

8月6日(金) 第4回

終活、葬送をめぐって(2) 火葬と墓地問題

●俵屋 年彦 (たわらや としひこ)

テクノロジーの民主化を進める TAWA LAB 創設者

日本は火葬率 99.97%の火葬大国。しかし、世界では火葬に代わる地球環境に配慮した様々な葬送が模索され、実行され始めています。持続可能でオルタナティブな葬送の可能性について、情報提供していただき、考えます。

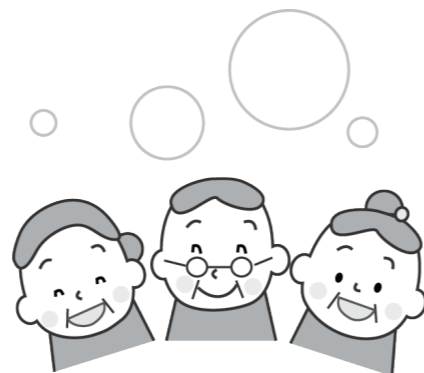
9月3日(金) 第5回

老いと労働：シルバー人材センターの仕組み

●河上 直輝 (かわかみ なおき)

シルバー人材センター

高齢者と呼ばれる年齢になっても、まだまだ元気。趣味やボランティアもいけれど、できれば仕事もしたい。そういう高齢者のニーズを組織化し、仕事をしたい人、仕事を頼みたい人をつなぐシルバー人材センター。運営や仕事内容など、具体的な仕組みをお聞きます。



循環社会と分散テクノロジー —既成概念から自由になる



気象変動による災害が深刻化する中で、脱炭素社会、循環型社会を目指す動きが活発になっています。その取り組みのひとつがSDGsです。しかし、既存の価値観に縛られたSDGsだけでは危機を回避することは難しいと思います。既成概念から自由になり、新しい自然観、人間観を築いていく必要があります。多様性に満ちたエコロジカルな循環社会を作っていくためには、テクノロジーを民主化し、分散型のテクノロジーを積極的に活用していくべきです。マルチスピーシーズ人類学など新しい自然観、人間観を紹介し、オールフォトリクスなど循環社会を生み出し支えるテクノロジーの動向を解説します。最新のIT機器の体験も行います。

日程 5月8日(土)開講 全5回 月1回土曜 14:30～17:30

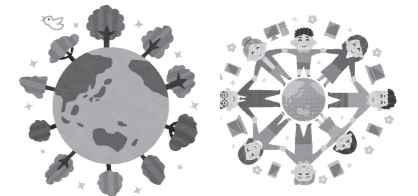
会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)

参加費 一般 8,000円 会員 7,000円 25歳以下 4,000円

(単発 一般 2,000円 会員 1,500円 25歳以下 1,000円)

講師 俵屋 年彦 (たわらや としひこ)

テクノロジーの民主化を進める TAWA LAB 創設者。インターネット、ソーシャルメディア、新しいテクノロジーなどの講座を、2013年から継続しています。コミュニティ FM 三角山放送局で1998年から23年間、生番組のパーソナリティーを継続中。1996年からインターネットのホームページ、ブログ、ソーシャルメディアなどで情報発信を続けています。



5月8日(土) 第1回

資本新世

—SDGsだけでは地球環境問題に対応できない

6月12日(土) 第2回

共異体観

—自然はつながり緊張に満ちた共生関係にある

7月10日(土) 第3回

複合現実

—世界や自分を相対化し豊かにする技術がある

8月21日(土) 第4回

循環葬送

—本当の意味で自然に還る葬送が始まっている

9月11日(土) 第5回

光電融合

—電気が世界を変えたように光が世界を変える

SDGs (国連・持続可能な開発目標) 北海道メジャーグループ・プロジェクト



2015年9月の国連総会において、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、17の持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)が2030年までの世界共通目標として掲げられました。「遊」では2015年度よりSDGsを下敷きにした北海道の地域目標づくりなどに取り組んでいます。現在、SDGsに取り組む様々なグループと連携し、「北海道版メジャーグループ」による対話のプロセスを進めています。

問合せ先: TEL.011-252-6752 syu@sapporoyu.org

サハリン島における 先住民、日本人、ロシア人の歴史



サハリン島は日ロ間、日ソ間において約100年の間に領有関係の変動が5回も行われました。外交交渉による条約と戦争の結果によるものです。1875年～1905年を除いた1945年の日ソ戦争の結果による日本住民の引揚終了（1949年）までのサハリン島の歴史には現在まで日本人の足跡が大きく刻まれています。領有変動によって住民の生活、運命はどのように変わったかをたどってみます。映像も使用し、サハリン島の歴史全体への理解を深めます。

日程 5月11日（火）開講 全5回 月1回第二火曜 18:30～20:30

会場 さっぽろ自由学校「遊」（愛生館ビル5F 501A）

参加費 一般5,000円 会員4,000円 25歳以下2,000円

（単発 一般1,500円 会員1,000円 25歳以下500円）

講師 小山内道子（おさないみちこ）

元道教育大ロシア語非常勤講師、翻訳家、サハリン・樺太史研究会会員

*アシスタント コジエブニコワ・ダリア（大学院生）

※最初に「旅のロシア語10～15分、息抜きに「原語で歌うロシア民謡」



5月11日（火）第1回

19世紀末までのサハリン島

- 1) 5回にわたる日露間の条約：領有関係の変動の概略
- 2) 樺太における日本人の漁業、間宮林蔵と松浦武四郎の探検と活動（～1875年）
- 3) ロシア領における流刑制度とアントン・チェホフのサハリン調査旅行

6月8日（火）第2回

サハリン島の先住民

- 1) 民族学者ピウスツキの生涯とサハリン先住民の調査
- 2) 川越宗一著『熱源』の主人公たちの活動（樺太アイヌの史実を探る）

7月13日（火）第3回

日露戦争とポーツマス条約におけるサハリン

*「ポーツマス条約」

- 1) サハリン島民の本国送還：退去か残留か
- 2) 日本領樺太の形成

※受講生の経験・読書結果などの簡単な報告をお願いし、討論の時間も設けたい。

8月10日（火）第4回

日本領樺太の発展

- 1) 産業：漁業、林業（製紙）、炭鉱
- 2) 文化：教育、文化施設、文学、ユニークな「オタス」観光

9月14日（火）第5回

平時から戦時へ、敗戦後の樺太

- 1) 日中戦争拡大と樺太、第2次世界大戦末期の情勢とソ連侵攻
- 2) 戦後の樺太（サハリン）→ロシア人の移住、日本人との共生、日本人の引揚



1939年日本時代に建てられた博物館、今もサハリン州郷土博物館として健在（ユジノサハリンスク）。

日本学術会議問題を考える —任命拒否の意味するところ



昨年9月、菅首相は、日本学術会議新会員6人の任命を拒否した。このことを単に学者間の問題ではなく、私たちの問題としてとらえたいと思う。そこには現代政治、民主主義、憲法、人権の問題としてあり、根底には差別、選別、排除の思想がある。また個人と組織の問題としてもある。今回は、戦前・戦後に通底する権力の意にそわないものは、排除していくという思想に焦点を合わせ、治安維持法と共謀罪を関連させて考えてみたい。

日本学術会議法前文（1947年制定）は、次のように書かれている。「日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという確信に立って、科学者の総意の下に、わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学界と提携して学術の進歩に寄与することを使命とし、ここに設立される。」戦前の反省の上に制定された。

日程 5月12日（水）開講 全4回 水曜 18:30～20:30

*前半は報告。その後、全体で感想、質問、話し合いをします。

会場 さっぽろ自由学校「遊」（愛生館ビル5F 501A）

参加費 2,000円（単発600円/回）

講師 北村公一（きたむらきみかず）元小学校教員、さっぽろ自由学校「遊」理事



5月12日（水）第1回

事実経過と問題の意味するところ

日本学術会議の歴史と活動（声明、提言など）

6月9日（水）第2回

戦前の治安維持法とパージ事件

滝川、森戸、矢内原、美濃部、3・15事件、宮沢・レーン事件、北海道綴方教育連盟事件、生活図画事件などの歴史から何を学ぶか

【予定】第3回 戦争と平和、写真・資料展

8月/会場：エルプラザ2階 交流広場/内容：憲法について・治安維持法と共謀罪・治安維持法の犠牲者など

7月14日（水）第3回

戦後のパージ事件と共謀罪

マッカーサーによるレッドパージ、イールズ事件、久田栄正主事発令拒否事件などの歴史から何を学ぶか

9月15日（水）第4回

あらためて日本学術会議問題を考える

学問の自由と民主主義の未来、現在の大学問題について

選んだ人とざっくばらんに！ 民主主義って何だ？ 政治家と語ろう

2015年前期から始まったこの政治家との対話講座「選んだ人とざっくばらんに」も6年になりました。本年度は間違いなく総選挙の年です。そこへ向け、北海道内小選挙区、衆院北海道比例区の立憲野党候補予定者をゲストにした対話を集中的にやりたいと思っています。決まり次第、都度ご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。

●会場 さっぽろ自由学校「遊」（愛生館ビル5F 501A）など ●参加費 500円/回

※開催日時・ゲストは確定し次第、ウェブサイト、ML等でご案内します。

※ゲストとの調整上、会場が変更になる可能性もあります。事前にご確認いただいたうえ、ご参加願います。

越境する人と文化を通して 読み解く東アジア



講座では、人と文化の越境現象に着目して動的視点で東アジアを読み解いていきます。本講座を通じて皆さんには、東アジアの歴史や文化、そして人間に対する理解を深める一助となることを願っています。講座では文献資料と映像資料を用いるほか、フィールドワークの現場からの声を適宜に紹介します。

日程 5月18日(火)開講 全5回 月1回火曜 18:45～20:45
会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)
参加費 一般5,000円 会員4,000円 25歳以下2,000円
 (単発 一般1,500円/回 会員1,000円/回 25歳以下500円/回)
講師 朴仁哲(ぼくじんてつ)

中国黒竜江省生まれ、1997年来日。北海道大学教育学博士。「多文化共生・国際交流研究事務所」所長、通訳・翻訳事務所「オフィス悠」代表。1999年から通訳・翻訳者として日中韓の国際交流に関わっている。研究領域は、外国語教育、多文化共生、国際交流研究、東アジア地域研究、人の移動と移民研究。

5月18日(火) 第1回

越境する食(文化)を通して 読み解く東アジア

マーボー豆腐、ジャジャン麺、インスタントラーメンなどの国境を越える食を通して、東アジアの食の多様性及び地域の多層性を読み解いていく。

6月15日(火) 第2回

越境する音楽と歌を通して 読み解く東アジア

久石譲の音楽、J-POP、K-POP、そしてテレサ・テンの歌など国境を越えて愛されている。今回は音楽と歌の越境現象に着目して東アジアを読み解いていく。

7月20日(火) 第3回

人の移動を通して読み解く東アジア

①日本人を事例として

3回目～5回目は、グローバルな現象である人の移動に着目して、動的視点で東アジアを読み解いていく。今回は日本人の移動を切り口として考える。

8月17日(火) 第4回

人の移動を通して読み解く東アジア

②中国人を事例として

3回目に続き、東アジアの人の移動に焦点をあてる。今回は中国人の移動を切り口として考える。

9月21日(火) 第5回

人の移動を通して読み解く東アジア

③コリアンを事例として

最終回では、コリアンの移動に焦点をあて、東アジアを読み解いていく。



生活クラブは、
 ちょっと変わった
 生協です♪
 モットーは
 「おいしくてカラダによくて
 自然を壊さない」です

生活クラブ北海道

アメリカ社会・文化と音楽



アメリカでの社会や文化の形成に音楽がどう関わってきたか、紹介・解説いたします。音楽がどう作られ、どのように利用されてきたか、そして社会がどう進んだのかを学びます。

日程 5月21日(金)開講 全5回 月1回金曜 18:45～20:45
会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)
参加費 一般5,000円 会員4,000円 25歳以下2,000円
 (単発 一般1,500円/回 会員1,000円/回 25歳以下500円/回)
講師 くろだとしひこ

1956年生まれ。北海道教育大学・非常勤講師。NPO 小さなカレッジ代表。ポピュラー音楽史研究者。『北海道ジャズ物語』(2006年出版)編著者。SMG 編集長。

5月21日(金) 第1回

差別が生んだアメリカ音楽(19世紀)

ハッシュ・ハーバーとスピリチュアル、南北戦争と音楽、奴隷解放とブルース、南部音楽の始まり。ミンストレル・ショーそしてミュージカルへ。これらの内容について紹介・解説致します。

6月18日(金) 第2回

狂乱と禁酒法時代の音楽(1920～30年代)

ニュー・オーリンズからシカゴへ。ケーキウオークとラグタイム。メディスンショーとストリング・バンド。チャールストンとビッグバンド。ラジオの普及。これらの内容について紹介・解説致します。

7月16日(金) 第3回

米ソ冷戦下の音楽(1950年代)

マッカーシーイズムとヒット曲。二人のフィリップ。ミスター・ロックンロールの光と影。若者音楽とロックンロール弾圧。レコードの普及。これらの内容について紹介・解説致します。

8月20日(金) 第4回

公民権運動と音楽(1960年代)

白人のフォークと黒人のモダンジャズ。ワシントン大行進と大合唱。キング牧師とマルコムX。モータウン・サウンドの誕生。学生運動と反戦歌へ。これらの内容について紹介・解説致します。

9月17日(金) 第5回

ベトナム戦争とウッドストック(1970年代)

ロックとニューシネマ。サイケデリックとヒッピー文化。ロック・オペラの誕生。エバーグリーン・ポップスと白人社会。ソウル音楽と黒人コミュニティ。これらの内容について紹介・解説致します。



みどり内科
クリニック 内科・消化器科
 注射でラクな内視鏡検査できます。
 白石区本郷通13丁目南4-27 ムトウビル2階 ☎866-4563 P有

自然食ホロ
 札幌市東区中沼西
 5条2丁目3-16
 TEL: 887-6224
 いつも喜んで、
 感謝して。
<http://horo.sunnyday.jp/>

**東ティモール
 マウベシ珈琲**
 オーガニックカフェやショップで販売中
 フェアトレードの美味しいコーヒー!!
 NPO 法人 ほっかいどうピーストレード
 TEL 070-5619-3222
 hokkaidopeacetrade@gmail.com

アイヌアートデザイン教室



アイヌ民族が先住民族と認められてからまだ日が浅いですが、アイヌ文化・芸術の歴史はとても深いものです。生徒さん自身の手で作る事によって、それらの文化を身近に感じる事ができると思います。是非一度チャレンジしてみませんか。お待ちしております。



日程 4月14日(水)開講
月2回 第2・第4水曜 13:00～15:00

会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)
受講料 4,000円/月(材料費は含みません)

※受講をご希望の方は、クラスの見学(1回)可能です。まずはお問い合わせください。

講師 貝澤 珠美(かいざわ たまみ)

アイヌアートデザイナー。1974年8月10日平取町二風谷に生まれる。高校卒業後デザイン学校に通い、'97年に独立。ファッション、インテリア、アクセサリー等、アイヌ文様をモチーフにしたオリジナル作品を製作している。



黄金色の手しごと —道産小麦のストロー使用—



小麦を加工するとパンやうどんになり、ストロー(麦わら)に手を加えると、作品が生まれます。遺跡の発掘により1000年前の札幌・丘珠では、小麦の大農園が存在していたことが証明されています。郷土の素材、ストローで淡い黄金色に輝く作品づくりはいかがですか。

日程 5月12日(水)開講 全3回 月1回第二水曜 10:00～12:00

会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)

受講料 3回通し4,000円 単発1,500円

講師 土肥 信子(どいのぶこ) 札幌村文化センター麦わら細工の会代表

5月12日(水) 第1回

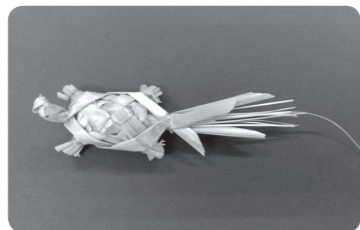
雪の結晶

6月9日(水) 第2回

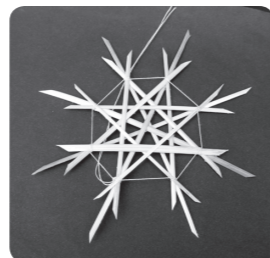
ブレスレット

7月14日(水) 第3回

カメ



カメ



雪の結晶

基礎から学ぶ伝統楊式太極拳 —急がず、悩まず、無理をせず—



日本に太極拳が普及し始めてほぼ半世紀が経ちました。太極拳がどんなものかは知らなくてもあのユックリとした動きの特徴を知らないと言う方はいないでしょう。では、どうしてユックリ動くの? という疑問の答えはなかなか聞けないものです。太極拳には陰陽学説や五行説と言った東洋哲学を実践する理論があります。この連続講座で伝統楊式太極拳の8つの動作を学ぶことを通して、その拳理に少しでも触れていただきたい。身体に新しい発見があることでしょう。

日程 5月20日(木)開講 全5回 月1回木曜 18:00～20:00

会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)

受講料 一般5,000円 会員or25歳以下4,000円

定員 10名(最少催行人数5名)

講師 原田 稔(はらだ むのる)

1952年生まれ。国内外の太極拳名手、高手に太極拳の指導を受け、2005年に太極拳札幌交流協会(<http://www.taichisapporo.com>)を設立し札幌を中心に普及活動を開始。市内の高校、体育館などで幅広い年齢層の方々に太極拳を指導中。日本武術太極拳連盟公認A級指導員、世界永年太極拳連盟教練資格。

◎服装 ジャージ等の動きやすい服装と運動靴でご参加下さい。ジーンズ、スカート、ヒールのある靴での参加は不可。

◎持ち物 汗拭き用のタオルと水分を持参下さい。

5月20日(木) 第1回

手は? 足は? 腰はどこ?
今さら聞けない基本のお話

中国伝来の太極拳はまず言葉の違いに気付くことが大切です。動かすところが違っていれば、動作そのものが異なるはず。手を振り、足を出し、腰を動かす...では手はどこ? 足は? 腰は? それを確認することから始めましょう。

6月17日(木) 第2回

肩と腰、肘と膝、手と足の動きを
つなげましょう

あのユックリの歩き方と身体を緩めるということに取り組んでみると意外な発見に驚かされます。つなげるって、どういうこと? ゆるめるってどうやって? そんな疑問にお答えします。歩いて、歩いて何度も歩いて身体のゆるみは作り出されます。

7月15日(木) 第3回

8つの動作を連続して行いましょう

覚えられないとか、上手にできないとか悩まなくてもかまいません。幾つかの動作をゆっくりと繰り返します。そうすると...身体の方が疑問に答えてくれることでしょう。

8月19日(木) 第4回

「気の流れ」を学びます

ここまで参加して頂いた皆さんの身体が、経絡やツボのお話を受け入れてくれると思います。姿勢や方向にもちょっとだけ注意を払いましょう。講師からも心や意識についてのお話が出てきます。楽しんでできることを続けましょう。

9月16日(木) 第5回

総仕上げは
ゆっくり完成していきましょう

「3年門を出す」という言葉が太極拳にはあります。毎日練習して3年、そうすると出来る様になるというのです。「えーっ! なあんだ」...とがっかりすることはありません。続けることで身体の方が覚えてしまった。そんなことがたくさんあるはずですよ。



花さんと読む、詩の世界

—茨木のり子と石垣りん



「わたしが一番きれいだったとき / わたしはとてもふしあわせ」と綴った茨木のり子、そして「精神の在り場所も / ハタから表札をかけられてはならない」と記した石垣りん。現代詩を代表する2人の作品1編ずつを、詩人で哲学者の花崎皋平さんと読んでいます。いつも、わいわいがやがや、勝手な感想が飛び交います。昨春からの講座ですが、途中参加にためらいはいりません。新しい風をぜひ吹き込んでください。

日程 5月13日(木)開講 全5回 月1回木曜 14:00～16:00
5/13、6/10、7/8、8/5、9/9

会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)

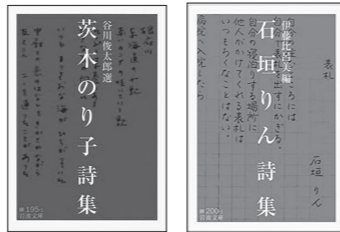
参加費 一般7,500円 会員6,000円 25歳以下3,000円

チューター 花崎 皋平 (はなざき こうへい)

1931年東京生まれ。著述業。著書に「田中正造と民衆思想の継承」「天と地と人と - 民衆思想の実践と思索の往還から」(いずれもセツ森書簡)など、詩集に「チュサンマとピウスツキとトミの物語他」(未知谷)「長編物語詩 アイヌモシリの風に吹かれて」(小樽詩話会)など

テキスト 『谷川俊太郎選 茨木のり子詩集』『伊藤比呂美編 石垣りん詩集』(いずれも岩波文庫)

※両詩集は各自でご用意ください。参加者が持込む関連資料を歓迎、コピー配布します。



マルクス・エンゲルス著

『共産党宣言』を読む



カール・マルクスとフリードリッヒ・エンゲルスの『共産党宣言』を輪読しながら、討論を交え、じっくり進めたいと思います。『共産党宣言』は、唯物論的歴史観、経済学、さらには階級闘争を含めた内容をもっており、とても重要な問題が提起されています。自分で、そして一緒にマルクス・エンゲルスの本を読み通す喜びを味わってみませんか。

日程 5月5日(水)開講 全5回 月1回水曜 18:45～20:45
5/5、6/2、7/7、8/4、9/1

会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)

参加費 一般4,000円 会員3,200円 25歳以下1,600円

(単発 一般1,000円 会員800円 25歳以下400円)

チューター 宮田 和保 (みやた かずやす)

熊本県生まれ。北海道大学卒業。現在、北海道教育大学名誉教授。専門は、理論経済学(マルクス経済学)と言語理論です。せつつかれるのが極めて苦手で、マイペースでしか生きていけない性格です。

テキスト マルクス・エンゲルス著『共産党宣言』

テキストはいろいろな翻訳がありますが、訳の現代性と注解を考慮すれば、そして文字の大きさからすれば、大月センチュリーズ版を薦めます。



北海道ノーモア・ヒバクシャ会館ツアー

祝!! 核兵器禁止条約発効!! 2021年1月22日から、51ヶ国・地域で、核兵器に関する全ての行為が禁止になりました。核兵器の、製造、運搬、使用、威嚇、など全ての行為の禁止です。そして、ヒバクシャ(被害者)への救済・支援も義務化されました。非核兵器地帯構想を実現しましょう! 核保有国・核の傘にいる国を、非核兵器地帯の包囲網で包囲しましょう!! 今年も、日本のヒバクシャや世界の核実験ヒバクシャのために祈り、新たなヒバクシャを生みださないために、みなさんで集まりましょう。毎年、解説員によるガイドが好評の「北海道ノーモア・ヒバクシャ会館」のガイド付きツアーです。

日時 7月31日(土) 現地集合 10:30～13:00

場所 北海道ノーモア・ヒバクシャ会館(広島長崎原爆資料展示館)
札幌市白石区平和通17丁目北6-7 (TEL.011-866-9545)

※JR平和駅を降りて跨線橋を渡ってすぐです。各自で、現地までお越しください。

※駐車場がありませんので、JRかバス(国道12号線のバス停から1km)などでお越しください。

参加費 事前予約のみ 一般1,500円 会員1,000円 25歳以下500円

※オプション 軽食600円

※ツアー申込み時にオプションの軽食についてもお申込み下さい。お申込みのない場合は各自で昼食をご用意下さい。

内容 展示資料のガイドツアー/ヒバクシャの方の体験談

軽食を取りながら感想、意見、現在の情勢の交流

最少催行人数 2名



大道芸人ギリヤーク尼ケ崎 九十歳記念記録映画

『魂の踊り』上映会



監督・主演 ギリヤーク尼ケ崎 語り 近藤 正臣

函館市出身の大道芸人・舞踏家ギリヤーク尼ケ崎は50年以上街頭(投げ銭)で踊り続けている。「鎮魂の踊り」(阪神淡路大震災)、「祈りの踊り」(東日本大震災)等被災地に心を寄せ踊っており、近年パーキンソン病を患ってからも踊り続けている。2020年夏、ギリヤーク尼ケ崎は旅に出た。両親が眠る秋田県能代市へ。そして海峡を渡り故郷・函館へ。原点の地で己を見つめ直し、そして目覚めた「魂の踊り」の境地とは…。

日時 6月26日(土) 14:00開演(上映時間76分)

※終了後交流会を予定しています。

会場 愛生館サロン(愛生館ビル6F・南側奥)

参加費 1,500円 25歳以下1000円

定員 15名(必ず事前予約をお願いします)

※この上映会はさっぽろ自由学校「遊」の主催でギリヤーク尼ケ崎さんのオフィシャルとは別な活動です。



読書室よりみちまわりみち



“読書が好き” “興味深い本を紹介してほしい” そんな仲間が集まる、気さくで楽しい場です。ジャンルは問いません。これまで、話題の本、ノンフィクション、旅行記、エッセイ、時代小説から現代小説まで、そして絵本、写真集、歴史、社会、など様々な分野の本が紹介されてきました。普段なかなか手にとることのない本を紹介され、自分の興味対象が広まっ、たりすることも多かったです。自分がおもしろかったと思う本を紹介し合うことが基本ですが、そこからいろいろに話が広がったりすることも多く、それも楽しいです。話を聞くだけでも、おしゃべりするだけでも ok、朗読も ok です。是非一度、覗いてみてください！本を通して一緒に楽しいひとときを過ごしませんか？新しい仲間をお待ちしてま～す！

日程 4月17日(土)より 全6回 月1回第三土曜 14:00～16:00

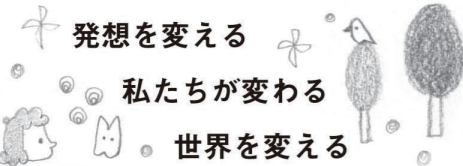
4/17、5/15、6/19、7/17、8/21、9/18

会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)

参加費 1回 500円 通し 2,500円



PARC 自由学校 2021 オンライン講座のご案内



PARC自由学校は、世界と社会を知り、新たな価値観や活動を生み出すための学び合いの場です。拠点は東京ですが、オンライン講座も多数開講予定。全国の皆さまのご参加をお待ちしています！

●もっと詳しく知りたい方は
より詳しい情報については、
ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.parcfs.org/>



●お申し込み・お問い合わせ
特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター (PARC)
PARC 自由学校
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-7-11 東洋ビル 3F
TEL: 03-5209-3455 FAX: 03-5209-3453
E-mail: office@parc-jp.org

オンライン連続講座 (6月から順次開講！／全7回～／受講料 15,000円～)

1. パンデミックを越えて——ポスト・グローバル資本主義への道
2. 樋口健二 売れない写真家が見つめた日本の闇
3. カウントダウン・気候危機——全員で生き残れるトランジションを考える
4. 【大江正章さん追悼講座】地域主義とコモンズ——農と食が紡ぐ希望
5. 平和のための日韓市民連帯——文化・人権・格差から考える
6. 軍事化される琉球弧——現地から問う「平和」と民主主義

◎オンライン読書ゼミ

07. 『身の丈の経済論：ガンディー思想とその系譜』
08. 『資本論〈入門〉』——現代経済をマルクスの視点で理解するために

◎オンライン英語講座

09. ケイトの “What's Happening In The World!?”
10. 武藤一羊の英文精読
11. 世界のニュースから国際情勢を読み解こう

オンライン単発講座 (4月から順次開講！／1回からご参加 OK／各回 1,000円)

〈特別講座1〉時代・社会を問いつける者たち

〈特別講座2〉アフリカの経験に学ぶパンデミック対策
——「健康」を人々の手に取り戻すために

PARCの映像で学ぶ 私たちの暮らしと社会



さっぽろ自由学校「遊」と協力関係にあるアジア太平洋資料センター (PARC) では、私たちの暮らしや社会に潜む様々な問題を考えるきっかけとなるような映像を多数制作しており、教育現場でも視聴覚教材として活用されています。このシリーズでは、近年制作された映像作品を観ながら、問題の所在や、解決への糸口などについて話しあいたいと思います。

日程 5月15日(土)開講 全5回 月1回土曜 14:00～16:00

会場 愛生館サロン (愛生館ビル6F・南側奥)

参加費 一般 5,000円 会員 4,000円 25歳以下 2,000円

(単発 一般 1,500円 会員 1,000円 25歳以下 500円)



5月15日(土) 第1回

プラスチックごみ
—日本のリサイクル幻想
(2019年、カラー 28分)

リサイクルという建前のもと、増え続けた使い捨てプラスチック。生態系全体に汚染が広がるいま、私たちに問われている未来への選択—。

8月28日(土) 第4回

外国人収容所の闇
—クルドの人々は今
(2020年、カラー 39分)

クルドの人々の証言から、外国人収容所における人権侵害の実態を明らかにし、日本社会のあり方を問う。

6月19日(土) 第2回

スマホの真実
—紛争鉱物と環境破壊のつながり
(2016年、カラー 35分)

スマートフォンに使われる希少金属。その採掘現場で起こる環境破壊と人権侵害から、つくる責任・使う責任を考える。

9月18日(土) 第5回

終わりのない原子力災害
—3.11 東日本大震災から 10年
(2021年、カラー 43分)

2011年3月11日に発生した東京電力福島第一原発事故。10年たった今も、事故は収束しておらず、「復興」政策は人びとに分断と苦悩をもたらしている。「人災」としての原子力災害の実状に迫る。

7月17日(土) 第3回

壊れゆく森から持続する森へ
(2020年、カラー 39分)

全国に広がる森林の皆伐。自然災害時に土砂崩れを誘発するケースも増えているだけでなく、再生林も十分に進んでいない。「小さな林業」の担い手が、新たな生業と地域づくりのあり方を提案する。



ボランティア・インターン募集！

さっぽろ自由学校「遊」は、市民が自主的に運営している「学びの場」です。その運営は多くのボランティア・スタッフによって支えられています。単純作業のお手伝いといった軽い関わりから、講座のコーディネートなどの深い関わりまで、様々な関わり方が可能です。活動に興味のある方は、事務局までご連絡ください。学生などのインターンも募集しています。

＜ボランティアの内容例＞

- ・発送作業のお手伝い
- ・広報協力
- ・テーブル起こし
- ・講座時の受付対応
- ・会報誌の編集
- ・講座のコーディネート など

NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」 設立趣意

さっぽろ自由学校「遊」は、1990年に設立されました。その最初の呼びかけを引用します。「私たちの住む世界は、めまぐるしい変化を見せています。東欧諸国の自由化の波、アジア・第三世界の解放の動きから私たちのすぐ身近な食べ物、環境、文化まで、新しい〈価値〉が生み出されようとしています。そして、その主人公はどこかの偉いさんではなく、一人ひとりの〈わたし〉のはずです。自由学校「遊」は、そんな〈わたし〉が出会い、学び合い、〈わたし〉と〈世界〉との新しいつながりを創りだすことを願ってつくられました。」

今、21世紀の入り口に立って、新たに以下のことを目指します。

自立と共生 さっぽろ自由学校「遊」は、この呼びかけにあるように自由で自立した市民として、国籍や国境を超えて広くアジアや世界の草の根の市民とつながり、共生するための生き方、知識、技法を身につける場となることを目指します。

平和と人権 さっぽろ自由学校「遊」はまた、一人ひとりの市民が、かつての植民地支配と侵略戦争が他の諸国の人々にもたらした加害の歴史を認識し、その罪に対する反省を共にし、平和と民主主義、正義と人権の理念を、市民社会の日常倫理として身につける場となることを目指します。

交流と提案 さっぽろ自由学校「遊」はまた、教える者と教えられる者の関係が固定した、従来の教育制度上の「学校」ではなく、市民が、考えや知識や技能を相互に交換しあい、お互いのより良い生き方、お互いが恵みを受けている地球環境と人間社会の共生のあり方を探求し、提案し、行動のきっかけを見つける学び合いの場として発展することを目指します。

(2000年7月23日起草)

市民がつくる市民のための学びの場 さっぽろ自由学校「遊」を応援してください！

さっぽろ自由学校「遊」の活動資金は、各事業の参加費のほか、皆様からの会費や寄付金によって賅われています。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

■「遊」の会員になってください

- a. **正会員（年会費 5,000 円）** さっぽろ自由学校「遊」の趣旨に賛同し運営に協力する会員。年1回開催される総会への参加の他、随時行われる企画・運営会議にも参加できます。会報誌「ゆうひろば」や企画案内を随時お送りします。また、各講座には会員料金で参加できます。
- b. **準会員（年会費 3,000 円）** さっぽろ自由学校「遊」の趣旨に賛同する会員。ただし、運営上の権利および責任はもちません。会報誌「ゆうひろば」や企画案内を随時お送りします。また、各講座には会員料金で参加できます。
- c. **特別会員（月 4,000 円／年間 48,000 円）** さっぽろ自由学校「遊」の活動を資金的に支えていただく会員。議決権などの法人運営上の諸権利は正会員と同じ立場です。単発参加可能なすべての連続講座を無料で受講することができます。

■ご寄付をお願いいたします

- a. **一般寄付** いただいたご寄付は、「遊」の運営・事業全般に活用させていただきます。用途を特定される場合は、その旨明記のうえお振込願います。
- b. **ひと基金** スタッフの件費補助や、研修等への派遣旅費の補助など、幅広い人材を育成していくための資金援助を目的とした基金です。（1口 5,000 円）

<ご入金の方法> 郵便振替用紙に必要事項を明記の上、お振込願います。

郵便振替 02780-5-47036 口座名：自由学校「遊」